

令和4年度第17回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 令和4年12月22日（木）14：30～14：54
- 2 場 所 教育委員会会議室 ハーバーセンター4階
- 3 出席者 <教育委員会>
長田教育長
正司委員 今井委員 山下委員 本田委員 吉井委員
<事務局>
高田事務局長兼教育次長 芝田教育次長 工藤総務部長
竹森学校支援部長 羽田野学校計画担当部長
山根学校教育部長 田尾教科指導担当部長
河野児童生徒担当部長 山下総合教育センター所長
濱田地区統括官
- 4 欠席者 松本地区統括官
- 5 傍聴者 0名（一般0名・報道0名／報道0社）
- 6 会議内容

（長田教育長）

それでは、ただいまから教育委員会会議を始めます。

本日は議案2件、協議事項3件、報告事項が2件です。

まず、非公開事項について、お諮りをいたします。

このうち、教第48号議案につきましては、教育委員会会議規則第10条第1項第2号の規定により、職員の人事に関する事、協議事項54、協議事項55、報告事項2につきましては、同項第6号の規定により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものに、それぞれ該当すると思われますので、非公開としてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

（賛同）

（長田教育長）

ありがとうございます。

それでは、今、申し上げました議案、協議事項、報告事項につきましては、非公開といたします。

教第47号議案 神戸市学校給食センター整備計画の改定について

(長田教育長)

それでは、まず、教第47号議案から参ります。神戸市学校給食センター整備計画の改定についてです。

それでは、説明をお願いします。

(武田給食施設整備担当課長)

神戸市学校給食センター整備計画の改定に先立ちまして、11月1日から30日まで、市民意見の募集をさせていただきました。御意見につきましては、219通、605件の御意見がございました。

1. のところですが、給食センター整備計画改定案に対する意見につきましては、106件、項目まとめまして、8項目ございます。主立ったところを説明させていただきます。

1. のところで、給食センターの整備を早く進めてほしい。子供が減っていく中で、安定的・効率的に給食を提供してほしい。それから、公立施設をつくって、公務員が調理するようにしてほしい。それから、3. のところで、効率的に進めてほしいというような御意見。ここにつきましては、教育委員会の考え方としては、まとめまして、教育委員会のほうで整備をするんですが、PFI手法を使って行いますということ。それから、教育委員会が献立をつくりまして、一括して食材も調達して、調理の手順も含めて全て統一したような形で進めさせていただきますので、給食の質につきましても担保されるようになりますということを記載させていただいております。

それから、4. については、西区に整備する給食センターから距離が離れているところがあるが、どう考えているのかというところで、こちらにつきましては、新たに整備します、神戸テクノ・ロジスティックパークについては、配送面での効率性が高いところがございます。なおかつ、余裕のある配送計画の作成にも努めてまいりますというような答えを書かせていただいております。

以降については、記載のとおりでございます。

それから、2ページ目になるんですが、この中学校の給食に関する意見につきましては、499件、9項目ございました。主立った意見としましては、温かくておいしい給食の提供、地元食材の使用、安全安心で量の調節もできる栄養バランスの取れた給食、アレルギー等にも対応してほしいというような御意見。こちらにつきましては、センターから保温食缶という、温度が下がりにくい食缶を使わせていただきますし、先ほど申しましたように、神戸市で、栄養バランスが取れる献立等も立てるような形で進めたいと思っております、という考え方を書かせていただいております。

それから、10. のところにつきましては、各学校に給食室を設置してほしいという話ですが、自校調理ということをおっしゃっている御意見がございました。こちらにつきましても、これまで調べましたところ、中学校で新たに給食室を整備できる場所というのは、

わずか2校のみでしたというところで、御理解をいただきたいということを書かせていただいております。

その他、親子調理方式等の御意見をいただいております。

この市民意見を受けまして、整備計画の改定なんですけど、前回10月のときにお諮りしました整備計画の改定案のところから、特に変更はございません。この中に書かれていることが、意見としてはありましたけども、特に、反映させるものはなかったかなと思っておりますので、これで進めさせていただきたいと思います。

以上でございます。よろしく申し上げます。

(長田教育長)

それでは、この件について、御質問、御意見はございませんか。

(正司委員)

多くの意見が寄せられたことに関心が高くてよかったかなと思ってますけれど、このパブリックコメントに対する回答は公表されたんでしょうか。

(武田給食施設整備担当課長)

明日、公表を予定しております。

(正司委員)

もし可能であればなんですけど、例えば、4.で「配送面での効率性が高い」というのが、多分、突然聞いて、市民の方がこれで通じるのかなと。道路網との接続がいい場所という意味を指してるのだとは思いますが、それはあの場所の道路網が頭にある人はいいいのですが、一般の方はそうではないと思います。

あと、その下に「民間デリバリー方式」という言葉が突如として出てきてるんですけど、これも、このパブリックコメントの回答の中だけでは、民間デリバリー方式というのが出てこないんで、後ろの資料を見れば分かりますが、その資料では、民間事業者の調理施設から同じ献立で配送するという説明が書かれているので、その表現が使われた方がいいのではないかなと感じました。

(武田給食施設整備担当課長)

ありがとうございます。補足させていただきます。

(正司委員)

あと、このような意見を受けて、今後の運営に参考にすることはたくさんあったと思いますが、計画案を変更しない点には賛成します。

(武田給食施設整備担当課長)

ありがとうございます。

(長田教育長)

どうぞ、吉井委員。

(吉井委員)

改定案そのものについては、何ら異論はございませんし、皆さん、大変よく練られた案だと思いますけど、一つ、感想を少し話させていただきたいんですけど。

こういう給食の品質と、それから、デリバリーのタイミングみたいなものは、多分、計画どおりに行くかどうか分からない。やってみないと分からないということではないかなと思います。本来であれば常時監視ができるようにしておくというのは、非常に有効なことだと思います。それは、最近のITですと、割と簡単にできることなんですね、写真を撮ったり、ログを取ったり、到着のログを取ったり、大したことではないんです。ぜひ、私どもの投資したものに対して、必ずモニタリングってやります。これはすばらしい計画ではありますが、モニタリングをしっかりされて、皆様、御心配されてらっしゃることについて、何か途中でも御疑義が来たときにきちんとお答えできるような体制を取っておかれたらいいかなと思います。

以上でございます。

(武田給食施設整備担当課長)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほか。今井委員、どうぞ。

(今井委員)

ありがとうございます。今回の御意見、すごくたくさんいただいて、もともと、やはり給食については、市民、保護者、生徒の皆さん共、すごく関心が高いところですので、今後も、この事業を進めていく上で、いろんな機会を捉まえて、具体的にスケジュールが進んでいった段階でいろんなところで、ぜひ、今後も発信をお願いして、できるだけ分かりやすく、現場の状況も併せてお伝えしたりしながら、こういうふうに具体的に進んでいまずとか、こういう計画をしていますという事を、ぜひこまめに、皆さんに伝えていただけるように、お願いをしたいと思います。意見です。

(武田給食施設整備担当課長)

はい。ありがとうございました。

(長田教育長)

どうぞ。

(山下委員)

大変、計画練り上げていただいて、また、Q & Aも丁寧にお答えいただきありがとうございます。基本的に賛成いたします。

1点、市民の御質問をいただいていた中で、西区に配送しないことに、やはり少し違和感を示されている御意見があるんですが、確かに、言われてみると、何でかなということになるかもしれません。広報、今後、この計画を進めるときに、同じような感想を持たれる市民もおられるかもしれないので、また、必要に応じて、先ほど今井委員もおっしゃってましたが、分かりやすい形で、こうした事情について、周知していただければありがたいかなと思いました。

(武田給食施設整備担当課長)

はい、分かりました。

(長田教育長)

ほか、よろしいでしょうか。

今回、給食センターの整備計画について、パブリックコメントでいろいろ御意見をいただきました。それについては、もともとの計画案と変更なく、この計画で行こうということですが、いろいろ意見もいただいているのも十分、また、参考にしながら、中学校給食を進めていく必要があるというふうに思います。

今日、委員の皆さんから、いろんな御意見いただきましたので、正司委員からいただいた御意見は少し、考え方を若干修正していただくという方向で対応をお願いをしたいと思います。

ほか、よろしいでしょうか。

特に御意見がないようでしたら、教第47号議案、承認とさせていただいてよろしいでしょうか。

(賛同)

(長田教育長)

ありがとうございます。

それでは、次に参ります。

報告事項 1 令和2年度神戸市立中学校生徒自死事案に関するいじめ等調査委員会の調査報告書について

(長田教育長)

報告事項1、令和2年度神戸市立中学校生徒自死事案に関するいじめ等調査委員会の調査報告書についてです。

(杉山監理・調整担当課長)

令和2年度神戸市立中学校生徒自死事案に関するいじめ等調査委員会の調査報告書についての御説明をさせていただきます。

調査の経緯ですが、令和2年9月5日に市立の中学校3年生の女子生徒が自宅にて自死しているところを発見されまして、令和2年10月20日、遺族の代理人から自死の背景にいじめの疑いがあるとの訴えがあり、令和2年12月16日に教育委員会の附属機関として、当調査委員会を設置し、令和4年12月9日に調査報告書が提出されたものになります。

調査結果といたしましては、いじめの有無という形で、小学校、中学校時代の学級内・部活、あと、女子の小グループにおける、いじめに当たる可能性があるものとして、24件あります。そのうち15項目がいじめに該当する、もしくは、該当する可能性が高いと書かれております。

このいじめにつきまして、自死との背景についてですが、小学校から中学校時代、いじめが当該生徒の自死に影響した要因の一つと考えられるとされました。また、小学校から中学校のいじめ、試験の成績不振、進路問題で親に叱責・非難されることへの不安、グループ内から排除されるおそれ、過剰な学習の負荷など、複数のストレスが並行して重なる状況に、学校の試験の結果の負担が上乘せされて、自死に至ったものと考えられるとされました。

これらの問題につきまして、学校と教育委員会の対応につきまして、学校の対応における主な問題点として17項目、教育委員会における主な問題点として5項目指摘されております。

また、再発防止の提言といたしまして、学校への提言が11項目、教育委員会への提言が11項目出されております。

対応方針としましては、報告書で指摘がある事項の項目の一部につきましては、神戸市いじめ対応の実施プログラム、これによりまして、既に実施や見直しを行っておりますが、指摘事項を踏まえ、さらに、改善に取り組んでいくところであります。

また、この調査報告書が出ました後に、12月12日、翌週の月曜日に市内全校に調査報告書について周知するとともに調査報告書の指摘事項で、各校において特に留意すること、

また、翌日には、問題とされた具体的な事案について、自校での取組に反映するよう通知をしております。

また、いじめ問題の実際の対応についてという通知文を発送する予定にしております。

なお、今回の事案について、中学1年時のいじめの報告というものもありましたが、これは当該校より、平成31年、令和元年の2月、また、自傷行為につきましては、当年の翌月の3月に生徒指導の記録として、当該校より、事務局の児童生徒課に受付の報告がなされています。

新聞報道でございました、遺族代理人が会見で、保護者、御遺族が、小学校5年時からのおいじめについては、今回の調査報告書で初めて知ったというような報道がなされた件に関しましては、小学校が保護者に説明した記録と当該校から生徒指導の記録として、保護者に説明した報告がなされておりますが、具体的にどのような説明を行ったのか、までは分からないため、改めて、保護者に伝えた内容について、当時の担任など、関係者に確認を行う予定にしております。

また、自死の直後に行いました基本調査につきましても、自死の背景に学校生活に関する要素について、きっかけや原因に結びつくものが認められなかった経緯についても、今後、確認を行う予定にしております。

報告としては、以上になります。

(長田教育長)

それでは、この件について、御意見、御質問があれば、お伺いしたいと思います。なお、今後の方針なり、今後の対応ということに関する内容につきましては、教育委員会会議規則第10条第1項第6号の規定により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じるおそれのある事項であって、非公開とすることが適切であると認められるものに該当すると思われますので、また、後ほど、非公開の場で協議をさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(賛同)

(長田教育長)

はい。それでは、今後の方針等に関する内容以外の部分で御質問、御意見があれば、お願いをいたします。

どうぞ、今井委員。

(今井委員)

意見ですけれども、本当に、今回の調査報告書を読ませていただいて、すごく長きにわたって、この生徒さんがすごく苦しまれていた様子、読ませていただいて、どこかで何か

ができなかったのかなっていうのを、そうしたら防げていたんではないかということ、本当に率直に思いました。

報告書では、様々な視点から学校・教育委員会に対して御指摘をいただいております。本当に真摯に受け止めて、今後、二度とこのようなことが起きないように、提言もいただいております。そこをしっかりと、実行していくというところが大事だと思っています。既に、いじめ対応のための実施プログラム、進んでるところもあると思いますが、やはり、もう一度改めて見直し、それが様々な現場で、しっかり内容のあるものにしていくために、本当に、一丸となって取り組む必要があると思います。

以上です。

(長田教育長)

ほかに、ございませんか。

どうぞ、山下委員。

(山下委員)

私も感想なんですけれども、まず、改めて、故人の冥福をお祈りしたいと思います。その上で、御指摘いただいている箇所について、本当に、きちんと受け止めて、改善を図っていかなくていけないところ、多々御指摘いただいているので、それについて、一つ一つ、対応していけるようにしていきたいなど、教育委員としても思っております。

また、これは今後の事柄にも関係することですので、後ほどまた意見を述べればと思いますけれども、やはり、学校での対応のどこに問題があるのかということ、個人の力量だけではなくて、組織の問題として捉えて、そしてまた、構造的に難しくなってしまうようなところを、どのようにして乗り越えていくかということを考えていければというふうに思いました。

(長田教育長)

ありがとうございました。ほか、どうでしょうか。

既に、以前に、教育委員の皆さんには、この報告書、お目通しをいただいて、また、一定の説明もさせていただいておりますので、今日は、今まで、教育員会会議での報告というものをしておりませんでしたので、本日の会議での正式の報告とさせていただいております。

ほか、よろしいでしょうか。

それでは、また今後の方針なり今後の対応ということについては、後ほどまた議論、協議をさせていただきたいと思っております。

協議事項38 コロナ禍における教育活動について

(長田教育長)

続きまして、協議事項38に参ります。コロナ禍における教育活動についてです。
お願いします。

(美藤学校保健担当課長)

資料ですが、12月16日現在の学校園における感染者数の推移についての御報告になります。

報告者数は、依然多い状況であります。また、下のグラフを見ていただければと思うんですが、神戸市の新規感染者数の推移のグラフを見ましても、増えつつある状況かと考えております。

報告は以上です。

(長田教育長)

それでは、この件について、御意見等はございませんか。

(正司委員)

全体の数が増えてきているわけですけど、重症というか、重い状況になっている生徒さんとか教職員の方という情報が入ってますでしょうか。

(美藤学校保健担当課長)

おかげさまでというか、子供たちは、学校からの報告によりますと、重症というのは聞いておりません。先生で第一人、発症されて、一時、入院をされたという事でしたが、その後、回復されて、御退院されていると聞いております。

(正司委員)

よかったです、ありがとうございます。前回もお聞きした、インフルエンザのほうはどんな感じなんでしょう。

(美藤学校保健担当課長)

インフルエンザも、実は少し出ておまして、まず、報告の数になりますが、12月に入って、若干少し増えております。12月、昨日までの時点で計78名の報告が、全市の学校園で出ております。それと、それに伴って、先日、インフルエンザとして学級閉鎖をした学級等もあります。

(正司委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほかにいかがでしょうか。

やはり、感染が少しずつ拡大してきていますけども、学校は少し、市中の感染より、大体いつも少し遅れぎみですよね。恐らく、家庭で感染してから、学校に持ってくるといったような形になってる。また、後ほど、非公開の場で、学級閉鎖の基準なり、給食時の黙食についてのことを議論することになると思いますけど、今のところ、保護者の方々から何か、お声が事務局に届いているというようなことはありますか。

(美藤学校保健担当課長)

保護者の方々にも昨日、学級閉鎖及び昼食のことについて周知をさせていただきましたが、現時点では、それに対する問い合わせ等は、いただいている状況です。

(長田教育長)

どうぞ、山下委員。

(山下委員)

御報告ありがとうございます。毎週、その週の学級閉鎖等の状況について、御連絡いただいているところで、こちらもありがとうございます。

今週はどんな感じですか。あと一踏ん張りで、冬休みという感じですが、増えているのか、減っているのか。また、もし、これは分かれば結構ですが、やはり、コロナ禍以前に比べると学級閉鎖、学年閉鎖というのは増えている形になるのか、お伺いできればと思います。

(美藤学校保健担当課長)

そうですね。現時点でも、明日、終業式になるかと思うんですが、学級閉鎖をお願いしている学級は少なからず、ある状況です。ただ、9月に一応、学級閉鎖の基準を、運用を少し変えましたので、統計を調べてみますと、やはり、1学期等に比べると、全体的には閉鎖数の数は減少、1学期に比べると少なくなっているという状況ではあったと思います。

(長田教育長)

ほかにございますか。よろしいでしょうか。

そのほか、今日の議題、協議事項以外のことでも結構ですが、何か委員の皆さんから御意見とか御提案はございませんか。よろしいですか。

はい。また、お気づきの点がありましたら、後日、事務局のほうまで御連絡をいただけ

ればと思います。

それでは、ここで、本日の公開案件は終了といたします。

閉会 14時54分